

結心会

第60回定例会・23年度通常総会

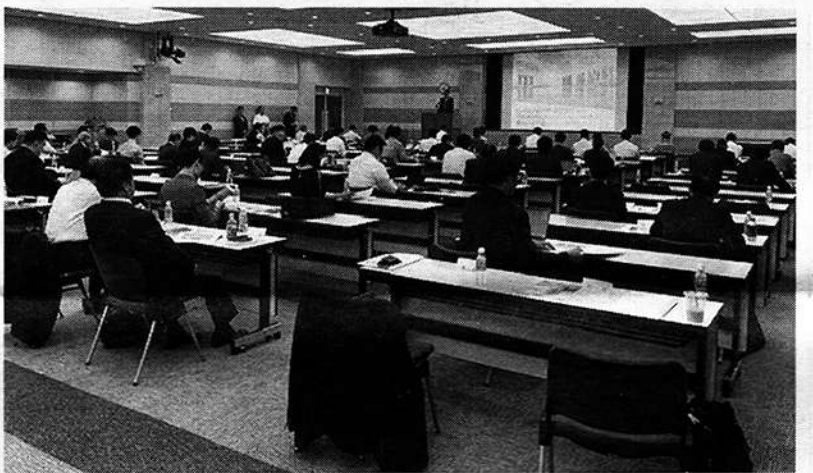
6部会を展開する方針を示す

一般社団法人保険健全化推進機構「結心会」は11月7、8日の両日、東京都渋谷区のあいおいニッ...

国策への関与など新たな取組を進める

総会では、①23年度 活動を見える化させ、(22年11月1日〜23年10月31日)決算報告の件②...

用できるように展開する によるプレゼンを24年度と説明した。



多くの代理店が参加

総会終了後は、セミナー・ポータル事業を展開している(株)フアシア代表取締役社長の佐々木英明氏が「結心会アーカイブの提案」と題し、金融リ...

項目達成の必須項目であり、代理店の一番の課題となるセキュリティに関する取り組みを提案した。

住友生命

渋川市で Vitality 活用事業

健康増進へ「しづかわウォーク」実施

健康プログラムの一部を活用した事業「Vitality しづかわウォーク」を10月23日から実施した。...

なことを通じて業界をけん引すると同時に各地で保険代理店を指導して多くの認定代理店を創出...

住友生命は、群馬県渋川市(高木勉市長)と連携し、住民の健康づくりに向けた行動変容を促すため、Vitality...

交通版デジタルツイン実証実験

携帯位置情報活用し交通課題解決を目指す

あいおいニッセイ同和損保、広島大学

あいおいニッセイ同和損保と国立大学法人広島大学(越智光夫学長)は10月20日から11月9日まで、Maas、スマートシティ、カーボンニュートラルの表現に向けた共...

滞が増え、排出ガスや騒音による環境問題が深刻化している一方で、地方では地域住民の高齢化や少子化により公共交通手段の縮小や削減の懸念も指摘されている。

今回の実証実験では、国や自治体が保有する統計データに加え、地域の人の携帯位置情報を活用することで人の行動パターンを再現性を高めることを構想している。...



上野氏

上野氏は24年度事業計画について、農林水産省外郭団体の農研機構のコンソーシアムとして食...

案することにも、保険会社や保険代理店募集人の知識向上のために同BOXを活

同研究の一環として、交通版デジタルツインの実現に向けた実証実験を実施した。

備、交通管理技術の導入、持続可能なモビリティの促進等が挙げられているが、検討段階においては交通版デジタルツインの活用が注目されている。

いニッセイ同和損保と広島大学が共同で開発するアプリ「Move e HIROSHIMA」を用いて実証実験の参加者のGPS移動履歴を取得し、交通シミュレーションモデルの改善に役立てる。